

山行報告書

作成:2013年6月15日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	銀杏峰(1440.7m)-親水古道-[奥越]	目的[方法]	オウレン畑自然観察と白山展望
期間	2013年6月1日(土)	形態	日帰りハイキング
参加人数	3人		

行動記録:

◇6/1(土) 晴れ、無風、20°C@岡崎; 曇り、無風、19°C@雲川公園; 曇り、弱風、14°C@銀杏峰

自宅(355)=0:20= J.U 宅(415)=0:25= K.M 宅(440)=0:05= 豊田東 IC(445)=0:35= 一宮 JCT(520)=0:20= 長良川 SA(540,610)=0:30= 白鳥 IC(640)=0:05= サークル K(645,655)=1:15= 雲川公園 P(810,835)-0:15= 「親水古道」登山口(850)-0:25= 標識②(915)-0:40= 標識④(955,1005)-0:45= 「正仏」水場(1050)-0:15= 中島道下降点分岐(1105,1110)-0:35= 烏帽子頭(1145)-0:15= 前山・中島道分岐(1200)-0:20= 銀杏峰(1220,1300)-0:12= 中島道分岐(1312)-0:45= 中島道下降点分岐(1357,1408)-0:35= V ロード下(1443,1450)-0:50= 「親水古道」登山口(1540)-0:15= 雲川公園 P(1555,1610)=0:40= 温泉「あっ宝んど」(1650,1755)=0:15= 勝山サンプラザ(1810,1825)=0:30= 中の平避難小屋(1855)

就寝(21:10) ※翌日は「蟹ノ目山」(自主山行)に続く。

概念図:



アプローチメモ:

◇ETC 料金[休割]

・豊田東～白鳥(121.4km): ¥3,400[¥1,700]

◇コンビニ

・サークルK(白鳥バイパス店): 0575-82-2504

・ローソン(大野春日店): 0779-65-3937

・ファミリーマート(大野春日): 0779-66-1406

◇スーパー

・サンプラザ(勝山): 0779-88-6464

◇駐車場

・雲川公園(区画なし): 10台以上可

※大屋根あり、トイレなし、水場なし

◇温泉

・あっ宝んど(大野市): ¥600、10:00～23:00

日誌:

雲川公園は河川敷の公園で大屋根のあずま屋以外の施設はない。護岸工事の最中で現場の駐車場のようだった。トイレは、手前の「真名川ダム」や「麻那姫湖青少年旅行村」を利用する。

親水古道(中島コース)から銀杏峰に登るのは初めてだ。姥ヶ岳と同様セリバオウレンが多く見られるコースのようだ。オウレンは既に袋果となっていたが、登山口から主尾根合流まで、たくさん見られた。

R157を渡ったところに案内板がある。「親水古道」登山口から山道に入る。最初は植林帯だが、途中からブナなどの自然林に変わる。道はよく踏まれており、歩きにくい所や危険箇所はない。道標の代わりに、数字の書かれた「ゼッケン」のような標識が幹に巻かれていた。すれ違った山菜採りの二人連れの話では①から⑩までであるとのことだったが、②と④しか目に留まらなかった。

標識④を過ぎると「Vロード」と呼ばれる掘れた急登がある。雨降りならいやな所だ。ロープが付けられており下りには助かる。急登はC1080m 辺りで終わり、ここから西北西にトラバース気味に進む。途中小さな水場を横切る。三つ目が一番水量多く、これが「正仏」の水場なのだろう。

自然林の林を抜けだすとC1210mで、中島道下降点分岐である。朽ちた道標が地面に横たわっている。南に展望が開け、姥ヶ岳から屏風山方面が眺められるが、今日はモヤッとしていて遠望は利かない。荒島岳は尾根越しに頭を覗かすが、白山は尾根に隠れてまだ拝めない。ここにはラショウモンカズラが群生していた。

ここからは灌木帯となり、ツツジが見ごろを迎えていた。笹又峠から続く主尾根に出て振り返れば、夏姿に衣替えしはじめた白山があった。周りの山はモヤッとして見えないのに、白山だけが梅雨空の雲の合間に拝めるのである。ありがたいことだ。合掌礼拝する。

天竺坂から山頂まで、キクザキイチゲ、サンカヨウ、エンレイソウ、カタクリなど、雪融け直後の春の花が見ごろだった。静かな山頂で白山を眺めながら至福のランチタイム、帰路は白山を正面に眺めながら爽快な尾根歩きが楽しめた。

感想:

「親水古道」は銀杏峰を「裏から登る」イメージで、一際静かな山を楽しみたい方にはお奨めのコースです。但し、南斜面なので、樹林帯と言えど天気が良いと暑そうですね。

参加者名

